

# グリーンフラッグ 12月の活動

## 新たな年に向かって

### 2回連続 日本生態系協会賞

12月、全国学校園庭ビオトープコンクール2017年の結果通知が日本生態系協会から届きました。2回連続の「日本生態系協会賞」でした。この賞は、学校・園庭ビオトープの特に優れた取り組みに対して与えられるものです。

このコンクールに応募する意義は、自分たちの自然に関する活動を客観的な物差しで判断してもらうこと、活動の方向性に関して間違いがないかを2年に1回は、チェックしてもらうこと

日本生態系協会に背中を押していただけるなら自信を持ってこれからも活動できるということです。さらに、日本生態系協会に相川小学校の周辺地域を知っていただくことにもなります。

受賞式は、2月11日（日）東京大学伊藤謝恩ホールで行われます。教職員だけではなく、保護者・地域の方々にも参加していただき、上位5校の発表やパネル展示を通して、それぞれの立場で相川小学校の今後の活動に参考のなればと思います。

### 全国学校・園庭ビオトープコンクール2017 審査結果及び発表と交流大会のお知らせ

ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

全国学校・園庭ビオトープコンクール2017の結果を  
、皆様の取り組みは日本生態系協会賞を受賞  
に、2月11日（日）に「発表と交流大会」を  
臣賞・会長賞などの受賞者によるステージ

藤謝恩ホールで行われます。教職員だけではなく、保護者・地域の方々にも参加していただき、上位5校の発表やパネル展示を通して、それぞれの立場で相川小学校の今後の活動に参考のなればと思います。

### 今年はシダーローズのない年です！

木の実にはなり年というものがあるのでしょうか？本校のヒマラヤスギの球果（シダーローズ）は、今年はたくさんの実をつけて、森に落ちていきます。本校の子ども達は「バラボックリ」と呼んで、生活科で観察をしたり、クリスマスリースの材料にしたりしています。

本校では、当たり前のようにありますが、とても珍しい素敵なボックリです。



6年生は、これをとくさん拾って、ラッピングして、「公民館祭り」で売ろうと考えているようです。

森の恵です。上手に活用したいです。

### 保護しました！

朝から、校庭でなにやら子ども達が騒いでいるなど思っていると、校長先生が網をもって職員室に入って来ました。網の中にいたのは、ムクドリです。ムクドリは、5月の抱卵期になると、本校の柱の隙間に巣を作ります。ウズラの卵の大きさで青いタマゴが特徴です。ムクドリは、尾羽と左の翼に傷を負っていて飛ぶことができませんでした。早速七沢にある環境保全センターに連絡して保護をお願いしました。しかし、保護した日が月曜日でしたので、次の日まで学校で預かることにしました。学校で実った柿をあげたり、ミカンをあげたりととても贅沢な相川小での保護期間でした。子ども達も気にな



なって、休み時間には見にきていました。

翌日無事、保護センターに預けました。治療とリハビリをするまでに行くといいですが。

### 3年生のビオトープ清掃

グリーンフラッグ10月号で報告しましたが、ほえみ広場は水没して、ゴミだらけになりました。カワラノギクの保護地になっているビオトープもたくさんの水がかぶり、流れ着いたゴミは水が引いた後にたくさん残りました。カワラノギクの世話を一生懸命にしている3年生達はそのビオトープの清掃に立ち上がりました。たくさんのゴミをとって枝も切りました。すっきりして新年を迎えられそうです。



### 大根の収穫～たくあん干し～

学習室の畑では、大根が収穫できました。掘った大根は丁寧に水洗いして、みそ汁を作ったり、炒めたりして食べました。残っている大根は、たくあんを作ることにしました。ワークスペースに干し、3学期が始まったらつけ込んでみたいと思います。

